

令和2年度地区まちづくり協議会活動報告の内容

番号	内容
	地区まちづくり協議会名
	地区まちづくり協議会の認定日
	地区まちづくり計画の認定日
	地区まちづくり協議会の活動テーマ(認定申請書より)
	今年度(R2.4.1～R3.3.31)の主な活動内容
	今年度の活動の成果は。(よかったこと、成功したこと)
	課題や問題、解決に向けての取り組み、改善
	今後の予定
	まちづくり活動費助成

令和2年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	令和2年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題、解決に向けての 取り組み、改善	今後の予定	活動費助成
1 白川地区 まちづくり協議会	H20年 6月26日	H28年 8月26日	1) 白川地区の良好な景観形成を目指し、景観の保全と育成を検討する。 2) 白川地区の歴史文化の保全と継承及び観光振興のため、金色院跡などの文化財保護や整備を検討する。 3) 白川地区の交通問題の解決に向けて、道路等のあり方について検討する。 4) 白川地区の特産である茶業の振興に向けて検討する。 5) 白川地区の福祉の充実に向けて検討する。	白川区役員会議へ参加: 8回	京都文教大学の総合社会学部ゼミ一行が訪問され、白川の歴史や暮らし、地域性について説明する機会を得られた。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部施設の使用が困難になり、住民も社会活動の自粛があり、積極的な活動はできなかった。	まちづくりに関する会議(役員会含む): 3~4回 新集会所の運営や行事等への参加 自治会役員会議への参加: 7~8回	
				白川区クリーン活動: 1回				
				○ 京都文教大学 総合社会学部ゼミ一行の白川訪問対応				
2 南陵町地区 まちづくり協議会	H20年 12月8日	H23年 10月14日	よい町を育てゆくことを目的とし安心、安全、良好な住環境を守る為の活動。	まちづくりに関する会議(役員会含む): 4回	住環境の実態調査を年2回実施し、調査結果を、「空き家・空き地」の所有者様に書面にて報告を行い、管理不備の場合は、個別に報告して理解を頂き、「まちづくり計画」は順調に運用されている。放置された「空き家・空き地」の心配もなくなり、「閑静で快適な住環境と緑豊かな景観を守る」が実現している。	地区内の住民の「南陵町地区まちづくり計画」の内容の理解不足。 「まちづくり計画」を理解されているかのアンケート調査を行い、結果を自治会だよりに掲載するとともに説明文書を配布した。 今後に求めている活動内容に大半の方が高齢のために、理解不足であると思われるので、再度地区まちづくり計画の冊子を自治会を通じて230部配布した。	まちづくりに関する会議(役員会含む): 2~4回 まちづくり計画運用に関する6役会議: 4回 住環境管理委員との活動内容に関する打ち合わせ: 6回 自治会の防災・防犯委員会との協働活動会議: 6回 自治会防災・防犯委員会と共同の夜回り: 24回(月2回) 自治会・防災訓練及び夏祭り参加と協力: 各1回 高齢者サポート委員会の活動への参加: 4回	
				まちづくり計画の運用と活動と4役会議他: 4回				
				区・住環境管理委員との活動に関する会議: 2回				
				自治会総会時でのまちづくり計画の活動報告(文書): 1回				
				地区内防犯・火の用心の夜回り: 24回(月2回)				
				自治会防災・防犯委員会・活動会議: 6回				
				自治会防災・防犯訓練: 1回 夏祭り: 中止				
				高齢者サポート委員会の会議及び活動参加: 2回				
3 南御蔵山地区 まちづくり協議会	H21年 8月14日	R2年 11月13日	本協議会は、緑ゆたかで閑静な住環境を維持し、住民の快適で安全な生活を守ることを目標としたまちづくりの実現に向けて、その具体化と推進をはかることを目的とする。	まちづくりに関する会議(役員会含む): 16回	「まちづくり計画」が審議会で承認され、市長の認定を得られたこと。それにより、「南御蔵山地区まちづくり計画/資料編」として刊行し、住民に配布できたこと。 ○ 自治会役員や自治会報などで協議会活動を知らせることで活動の理解者が増えた。また、まちづくり計画によって近隣の協議会と交流が持てた。	協議会活動への参加者が固定されていて、年齢構成に偏りがみられる。協議会役員のなり手がいない。 自治会との一体化をより強化して、協議会の継続を組織として確保していく。 コロナウイルス感染症が収束すれば、協議会イベントを広く住民の参加が得られるように企画する。	まちづくりに関する会議(役員会含む): 13回 まちづくり懇話会: 2回 タウンウォッチング: 1回 ○自治会役員会、自治会三役との会議: 13回	活動助成対象金額 360,040円 助成金: 180,000円 (内容: 南御蔵山地区まちづくり計画/資料編の作成及び配布)
				協議会役員によるタウンウォッチング: 1回				
				自治会役員会、自治会三役と協議会役員の会談: 14回				
				第5回まちづくり審議会(8/28)への出席				

令和2年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	令和2年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題、解決に向けての取 り組み、改善	今後の予定	活動費助成
4 宇治市北の玄関 街づくり協議会	H21年 9月25日	未	六地蔵地区並びに木幡御蔵山 地域の一部の都市機能と生活 環境の向上をはかり、安全かつ 快適で文化的な街づくりを推進 することを目的とする。	まちづくりに関する会議(役員会含む): 5回	協議会役員と区の役員を兼 ねている方が参加しているので、 会議の際にも、六地蔵全体のこ とがわかった。		まちづくりに関する 会議(役員会含む): 6回 ○ 自治会と連携したイ ベント:(5回)	
5 志津川地区 まちづくり協議会	H22年 2月8日	未	・ 緑豊かな美しい自然を生かし たまちづくり ・ 生涯住み続けられる住環境を つくるまちづくり ・ 助け合って生きていけるまち づくりを目標としたまちづくりを 行うことを目的とする。	まちづくりに関する会議(役員会含む): 4回	「花野菜いっぱい運動」を重 視し、春と秋に花や野菜の種や 苗を配布し、空いている土地を 活用して栽培の拡充に力を入れ た。 ○ 昨年度初めて開催した「ええ とこ100選写真展」が大好評で あったことから、今年度も開催し た。	みんなで考え、判断して進めるこ との重要性の再認識。 役員体制の確立。	まちづくりに関する 会議(役員会含む): 5回 まちづくりに関する 勉強会(専門家派遣): 1 回 志津川地区まち協 ニュース発行: 6回 花野菜いっぱい運 動の推進: 3回 ○ 椿ロード草刈り: 2回 ○ ええとこ100選写真 展: 1回	
				志津川地区まち協ニュース発行: 6回				
				花野菜いっぱい運動の推進: 2回				
				椿ロード草刈り: 2回				
				○ ええとこ100選写真展: 1回				
6 明星町地区 まちづくり協議会	H22年 6月11日	未	明星町地区の住環境を良好に 保ち、健康で安心できる、安全 で、住んでよかったと思えるま ちづくりの実現に向けて、その 具体化と推進を図ることを目的 とする。	まちづくりに関する会議(役員会含む): 7回	協議会も関わるレインボウバ スの事務局運営について、コロ ナウイルス感染症拡大の影響で 収益が落ち込んだが、助成金や 通常自治会で集めている支援金 等で切り抜けることができた。	自主防災会の活動に対して、自 治会が消極的で活動が中断してい る。 コロナ禍でも実施できる最低限 の防災訓練、避難訓練を模索する。	まちづくりに関する 会議(役員会含む): 7回 明星町まちづくり フェスタ ハロウィンパレード	
				夜間の違法駐車の見回り: 1回				
				レインボウバス運営委員会事務局活動				
				明星町フェスタ: 中止				
				○ ハロウィンパレード: 中止				

令和2年度 地区まちづくり協議会活動報告

凡例
課題や問題について
解決に向けての取り組み、改善

名称	協議会 認定日	計画 認定日	協議会の活動テーマ (認定申請書より)	令和2年度活動内容	よかったこと、評価できること	課題や問題、解決に向けての 取り組み、改善	今後の予定	活動費助成
7 平等院表参道 まちづくり協議会	H28年 12月26日	未	平等院表参道が国内・国外のお客様を迎えるにふさわしい通りとなることを目指し、沿道の事業者・住民・行政等が協働して、地域の歴史的・文化的な背景を活かした良好な景観づくりを進めることを本協議会の目的とする。	まちづくりに関する会議(役員会含む): 4回	景観形成に注力し、式目の設置や自動販売機のカラー統一、 室外機カバーを同一木製格子カバーに統一できた。	協議会活動への参加者が固定されている。 協議会活動への参加者が少ない。 協議会活動に無関心である。 各事業者の営業と協議会活動の関係性やその重要度を、それぞれの事業者と対話の機会を持ち、お互いに寄り添うことの重要性を説いていく。	まちづくりに関する 会議(役員会含む): 6回 イベントへの提案・ 助言: キャンペーン	
				イベントへの提案・助言(福袋キャンペーン/通りに藤の鉢の設置)				
8 炭山地区 まちづくり協議会	H29年 9月20日	未	若い人も高齢の人も豊かな自然環境を生かし安心して楽しく住みつけられることを目標としたまちづくりの実現に向けて、まちづくりの提案・実践と住民の合意形成に留意し、その具現化と推進をはかることを目的とする。	まちづくりに関する会議(役員会含む): 13回 [内 容] 総会1回、定例会1回、役員会11回	年2回の清掃行事が計画通り実施できた。 要望の積み上げがあり、期待が広がった。 「地区まちづくり計画」の第1次案をまとめた。	協議会活動への参加者が固定され、参加者も少ない。 スタッフ不足。まちづくり協議会の会員を増やし、専門部会の活動をさらに改善していくことが必要。 多様なニュースで炭山のことがわかるニュースとするため、「編集委員」の体制を整える。	カフェすみやまの実施 ○ 清掃行事: 2回 ○ まち協ニュースの発行: 10回以上 ○ 要望書活動(地域要望の整理)	
				町内会役員会への定期活動報告: 4回				
				清掃行事: 1回 [内 容] 環境整備、道路沿いゴミ撤去				
				要望書活動(地域の要望を行政機関等へ文書で提出・回答): 1回				
				要望書懇談会(市への要望について市各課と地域の懇談): 1回				
				まちづくり協議会ニュースの発行(町内会全戸配布): 3回				